

第2学年国語科学習指導案

1 単元 ようすを考えて読もう「お手紙」

2 指導観

○ 本学級の児童の実態

読むことの学習においては、本学級の児童は1学期に「ふきのとう」「スイミー」の学習で、挿し絵を手がかりに、登場人物のしたことや言ったことに目を向けながら、場面の様子を想像したり、気持ちを考えたりしながら、お話のあらすじを読み取る学習をしてきた。1学期末に行った国語の学習に関するアンケート調査からは、次のような結果が見られる。「物語の学習は好きですか。」という問いに対し、「とても好き」「好き」と答えた児童が22人(96%)、「あまり好きではない」「好きではない」と答えた子どもが1人(94%)で物語の学習を好む子が多い。理由としては、読んでいたらドキドキする、お話しの続きが楽しみだから、といった文学的文章自体が好きというものと、音読するのが好き、発表がたくさんできる、といった学習内容が好きというものがある。音読をしたり、動作化をしたりするのが好きな子が多く、物語の世界を楽しみながら学習を進めることができている。しかし、一つ一つの言葉に着目したり、前の場面とつないで考えたりすることはまだ難しい。

書く活動については、これまでの学習で①読みのめあてに対する自分の答えを書く②登場人物のことにサイドラインを引いたり、視写したりする③「今日の学習で」(一単位時間の学習を通してのめあての答え)を書く④単元の学習を通して感じたことや考えたことを書きまとめる、という経験をしてきている。読み確かめの中で行う②③の活動については、書く内容、時間共に、個人差が大きい。アンケート結果でも、『今日の学習で』を書くことができますかという問いに対して、「よくできる」「できる」と答えた子が18人(78%)、「あまりできない」「できない」と答えた子が5人(22%)だった。何をどのように書くかが明確でなかったためになかなか手が動かない子もいたのではないだろうか。書き始めてしばらくして個別に指導することで書き上げている状態である。

○ 本教材の価値

本教材は、誰からも一度もお手紙をもらったことのない悲しい気分のがまくんの姿を見て、何とかしてあげたいと思い、行動するかえるくん、そしてそのかえるくんからのお手紙によって自分の近くに親友がいたことに改めて気づき、喜ぶがまくんと温かい心の交流が表現されている。かえるくんのお手紙の「親愛なるがまがえるくん」「ぼくの親友」などの言葉に「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」と言うがまがえるくん。2年生の子どもたちにとって共感する部分が多い作品であると思われる。十枚におよぶ挿し絵によって、話の筋や場面の移り変わりが分かりやすく、挿し絵と叙述をつないで気持ちを考えていく手がかりとすることができる。

また、文は短い会話文を中心に構成されているので、役割読みを通し人物に同化し、人物の気持ちの移り変わりを読み取ることができると考えられる。

そこで本学習では、音読を通して、登場人物に寄り添いながら読み進め、その中で展開のおもしろさやがまくんの気持ちの変化を読み取らせながら、二人の気持ちが通じ合っていく喜びを感じ取らせたい。

○ 書く活動の充実

2年生の読みの学習における、書く活動の充実とは、登場人物の行動にサイドラインを引いたり、視写をしたりすることである。

また、一時間の学習のまとめとして、登場人物の行動を中心に想像したことを書きまとめることである。

○ 論理的思考力を育成するための書く活動

(1) 全文を読んで、読みのめあての答えを書きまとめる

読みのめあての答えを書く活動の際には、以下の手順で書きまとめさせる。

- ① 2枚目の「かなしい気分」の挿し絵に対応する挿し絵を見つけさせ、お話の始めと終わりをおさえる。
- ② その間の6枚の挿し絵を順序よく並べ、その挿し絵が表す場面を短い言葉で表現させる。
- ③ ②をつないで自分の答えを書きまとめさせる。

このような手順をふむことで、子どもたちはお話の大体をつかむことができると考える。

(2) 登場人物の行動にサイドラインを引く

毎時間、まずかえるくんがしたことに目を向けさせるためにサイドラインを引かせる。かえるくんがしたことが叙述にない場面では、その場面の中心となる叙述にサイドラインを引かせる。ただ、「かえるくんがしたことにサイドラインを引きましょう。」と引かせるのではなく、前の場面や今日の場面の話の流れにそって子どもたちが考えていけるようにする。

(3) くわしくなったあらすじを書きまとめる

毎時間、学習してくわしくなったあらすじを書きまとめさせる。その際には以下の手順で書きまとめさせる。

- ① 板書をたどりながら1時間の学習を振り返る
※ ポイントは、チョークで囲んだり印をつけたりする。
- ② 「今日の『お手紙』のお話しはね、かえるくんは～」という書き出しをあたえる。
- ③ ポイントを必ず入れるようにして書きまとめさせる。

(4) 読みのまとめとして、かえるくんの手紙を書く。

- ① 挿し絵を見ながら、毎時間読み確かめてきたことを想起させて音読する。
- ② 場面ごとのかえるくん語りかけようようにお手紙を書く。
※ 場面ごとに区切ったプリントと、続けて書けるプリントを用意する。

○ 指導にあたって

指導にあたっては、次のような支援と手立てを取り入れていく。まず、題名と冒頭、挿し絵をつないで、がまくんがどうしてかなしそうなのか、かえるくんまでがかなしい気持ちになっているのはなぜか話し合う。そして、かなしい気分で玄関の前にこしを下ろしているかえるくんとがまくんが、これからどうなるお話だろうという読みのめあてをつくる。

読みのめあてに対する答えの書きまとめでは、まず、全文をすらすら読めるように音読する。その際、役割読みをすることを通して、会話文が誰の言葉なのかを理解したり、挿し絵を並べ替えたりすることで、物語のだいたいをつかんだりすることができるようにする。なかなかすらすら読めない子どもには、漢字にふりがなをうったり、文節ごとに区切りを教科書に書き込んだりといった個別の支援を工夫する。その上で、お話の始めと最後を押さえ、かえるくんがしたことをもとに、あらすじを書きまとめさせる。

学習計画では、かえるくんがしたことから、もっと知りたいことや疑問を出し合って、読み確かめる計画を立てる。

読み確かめでは、5つの場面ごとに、かえるくんやがまくんの様子や気持ちを読み取り、お話をくわしくしていく。かえるくんがしたことを確認するためにサイドラインを引かせ、その叙述や挿し絵から、かえるくんがどんな様子なのかに気づかせる。そして、そうしたのはなぜか、そんな様子なのはなぜかを問うことで、かえるくんやがまくんの気持ちを読み取らせたい。また、毎時間最後に板書をたどりながらポイントを押さえて今日の学習をふり返り、くわしくなったお話を書きまとめさせたい。

読みのまとめの段階では、挿し絵をもとに読み確かめてきたことふり返り、かえるくんの手紙を書きまとめさせる。さらに、前の場面とつないで読んだり類縁語や会話文を読んだりする読み方を使ったことについてまとめる。

3 単元の目標

- かえるくんとがまくんのしたことや様子をもとに、二人の気持ちの変化と、心のふれあいを想像し、お話のあらすじをまとめることができる。
- 前の場面とつないで読んだり、類縁語や会話文を読んだりする読み方を身に付けることができる。
- ◎ 登場人物のしたことを見つけてサイドラインを引いたり、したことから想像した様子や気持ちに加わったあらすじを書きまとめるたりすることができる。

4 単元計画 (全18時間)

段階	時間	主な学習活動と内容	指導上の留意点 (◎何のためにどのように音読させるのか)
読みのめあて	1 2	だい名とお話のはじめを読んで、読みのめあてをつくろう。	
	18	1 題名「お手紙」にから考えたことや疑問に思ったことや話し合う。 2 冒頭を読む。 3 登場人物を確認し、人物のしたことにサイドラインをひく。 4 「ふたりとも、かなしい気分で、げんかんの前にこしを下ろしていました。」に着目し、かなしい気分になっているのはなぜか、挿し絵とつないで考える。 5 題名、冒頭の読みをつないで、読みのめあてを生み出す。 読みのめあて かなしい気分でげんかんの前にこしを下ろしているがまくんとかえるくんが、これからどうなるお話だろう。	◎ お手紙についての自分の経験を出し合わせる。(だれからもらったか、その時どんな気持ちだったかなど。) ◎ 「は」の文、「が」の文に着目させたことの文を見つけさせる。その際、ふたりともがしたことにも着目させる。 ◎ 挿し絵とつないで考える際には、目、視線、表情、手、背中などに着目させて考えさせる。 ◎ 役割読みをすることで、がまくんとかえるくんがかなしい気分になったのはなぜか考えさせる。 ◎ お話が、これからどうなるのだろう、と興味を持たせて読みのめあてをつくる。
読みのめあての答え	3 4	お話をぜんぶ読んで、読みのめあての答えを書きまとめよう。	
	18	1 教師の範読を聞く。 2 音読の練習をする。 3 挿し絵をもとに、がまくんとかえるくんがしたことをとらえ、お話の順序をつかむ。 4 読みのめあての答えを書きまとめる。 【書く活動①】	◎ 役割読みをすることを通して、会話文が誰の言葉なのかを理解させる。 ◎ 一人一人の音読を聞き、なかなかすらすら読めない子どもには、漢字にふりがなをうったり、文節ごとに区切ったり、といった個別の支援をする。 ◎ ① 2枚目と9枚目の挿し絵をもとに、お話の始めと終わりを押さえる。 ◎ ② その間の6枚の挿し絵を順序よく並べ、その挿し絵が表す場面を短い言葉で表現させる。 ◎ ③ ②をつないで自分の答えを書きまとめさせる。
	6 7	読みのめあての答えを話しあって、学しゅうの計画を立てよう。	

18 1 読みのめあての答えを話し合う。

○ それぞれの挿し絵と対応させながら、あらすじとして必要ながまくんとかえるくんのしたことを整理し、自分の書いたあらすじに足りなかった点に気づかせ、見直させる。

予想される読みのめあての答え

(はじめに) かえるくんは、がまくんにお手紙を書いた。(次に) 手紙をかたつむりくんにたのんだ。(そして) かえるくんががまくんの家にもどると、がまくんはお昼ねをしていた。(それから) かえるくんは、何でもまどの外をのぞいた。(さいごに) かえるくんは、自分ががまくんにお手紙を出したことを言った。かえるくんはお手紙の中みをがまくんに教えて、ふたりとも、とてもしあわせな気持ちになった。四日たって、お手紙をもらって、がまくんがとてもよろこんだお話。

2 かえるくんとがまくんがしたことから、もっと知りたいことや疑問を出し合って、読み確かめる計画を立てる。

○ みんなで考えた読みのめあての答えを音読し、がまくんとかえるくんの言動で知りたいことやはっきりしないことを疑問として出し、それを、場面ごとに位置づけて読み確かめの計画を立てていく。
○ 読みのまとめでは、くわしくなったお話の様子や登場人物の気持ちが伝わるように音読発表会をすることを伝え、意欲づける。

読み確かめること

- ・ 大いそぎで家に帰ってお手紙を書き、またもどるまでのかえるくんの様子や気持ち
- ・ まどから見たりのをぞいたりするかえるくんと、お昼ねしているがまくんの様子や気持ち
- ・ お手紙を出したことを話したかえるくんと、それを知ったがまくんの気持ち
- ・ とてもしあわせな二人の様子や気持ち
- ・ 四日間の二人の様子や気持ちと、お手紙が届いたときのがまくんと、かえるくんの様子や気持ち

読み
／
8
18
確
か
め

大いそぎで家に帰ってお手紙を書き、またもどるまでのかえるくんの気持ちを読みたしかめて、お話をくわしくしよう。

1 本時学習のめあてを確認する。

○ 学習計画表をもとに、今日のめあて、はてなを確認する。
○ 本時の学習場面を把握するために音読させる。

2 本時場面を音読する。

3 かえるくんがしたことサイドラインを引く。

【書く活動①】

○ 大いそぎで家に帰ったかえるくんがしたことは何か問い、サイドラインを引かせる。

4 大いそぎで家に帰ってお手紙を書き、家からとび出すかえるくんの様子や気持ちを話し合う。

○ かえるくんがいそいでいるわけを、前の場面とつないで考えさせ、がまくんを早く喜ばせたいかえるくんの気持ちを読み取らせる。
○ 「とび出しました」を似た言葉の「出ました」と音読して比べることで、かえるくんがとても急いでいる様子を読み取

5 お手紙をかたつむりくんにたのんだわけを話し合う。

6 本時学習をふり返り、まとめる。

(1) 本時学習を生かして音読する。

(2) くわしくなったお話を「今日の学習で」に書きまとめる。

【書く活動②】

らせる。

- とても急いでいるのに、かたつむりくんにたのんだのはなぜか、考えさせる。
- がまくんを早く喜ばせてあげようとするかえるくんの様子や気持ちを確認するために音読させる。

① かえるくんのしたことから想像したどれだけ急いでいたかという様子と、前の場面とつないで考えた急いでいる理由、この2点を色チョークで囲みながら板書でたどる。

② 板書で囲んだ2点を必ず入れるようにして、「今日の学習で」を書きまとめさせる。

9
/
18

まどから見たりのぞいたりするかえるくんのようすやきもちを読みたしかめて、お話をくわしくしよう。

1 本時学習のめあてを確認する。

2 本時場面を音読する。

3 かえるくんがしたことを視写する。

【書く活動①】

4 まどからゆうびんうけを見た時のかえるくんの様子や気持ちを話し合う。

5 まどからのぞいた時のかえるくんの様子や気持ちを話し合う。

6 本時学習をふり返り、まとめる。

(1) 本時学習を生かして音読する。

(2) くわしくなったお話を「今日の学習で」に書きまとめる。

【書く活動②】

- 学習計画表をもとに、今日のめあて、はてなを確認する。
- 本時の学習場面を把握するために音読させる。

○ 前の場面で、がまくんを早く喜ばせようとしていたかえるくんの様子や気持ちを想起させ、今日の場面でかえるくんはどんなことをしたか問い、サイドラインを引かせる。

○ かえるくんがどうしてゆうびんうけを見たか話し合った後に、がまくんの様子や気持ちを確かにするために、役割音読をさせる。

○ 挿し絵、動作化などで「見ました」と「のぞきました」の違いに気づかせる。

○ 役割音読してがまくんがどんどんあきらめていって落ち込んでいる様子や、がまくんを一生懸命励まそうとしているかえるくんの気持ちを確かめる。

① かえるくんがなぜまどからゆうびんうけを見たのか、なぜ何度もまどからのぞいたのか、この2点を色チョークで囲みながら板書でたどる。

② 板書で囲んだ2点を必ず入れるよう

にして、「今日の学習で」を書きまとめさせる。

10
／
18

お手紙のことを話したかえるくと、それを知ったがまくんの気持ちを読みたしかめて、お話をくわしくしよう。

(
本
時
)

- 1 本時学習のめあてを確認する。
- 2 本時場面を音読する。

3 かえるくんが手紙を出したことが分かるところにサイドラインを引く。
【書く活動①】

- 4 がまくんとかえるくんになって役割読みをし、様子や気持ちを話し合う。
- 5 「とてもいいお手紙だ。」で、がまくんは何を「いい」と言っているのかを話し合う。

- 6 本時学習をふり返り、まとめる。
(1) 本時学習を生かして音読する。

(2) くわしくなったお話を「今日の学習で」に書きまとめる。
【書く活動②】

- 学習計画表をもとに、今日のめあて、はてなを確認する。
- 本時の学習場面を把握するために音読させる。

○ 何で手紙を出したことを言ってしまったんだろうというはてなを提示する際に手紙を出したと言っているのはどこか問い、サイドラインを引かせる。

- 「きみが」の音読の違いを取り上げることで、がまくんのおどろきや喜びを読み取らせる。
- がまくんは、お手紙のどこを「いい」と言っているのか考えさせ、自分のことを親友と言ってくれるかえるくんの気持ちをうれしく思っていることを読み取らせる。

- ① かえるくんがなぜ手紙を出してしまったことを言ったのか、それを聞いたがまくんが、何を「いい」と言っているのか、この2点を色チョークで囲みながら板書でたどる。
- ② 板書で囲んだ2点を必ず入れるようにして、「今日の学習で」を書きまとめさせる。

11
／
18

とてもしあわせな二人の気持ちや様子を読みたしかめて、お話をくわしくしよう。

- 1 本時学習のめあてを確認する。
- 2 本時場面を音読する。

3 ふたりがしたことをを視写する。
【書く活動①】

- 学習計画表をもとに、今日のめあて、はてなを確認する。
- 本時の学習場面を把握するために音読させる。

○ 読みのめあてをつくった場面の挿し絵とこの場面の挿し絵が対応していたことを想起させ、ふたりがどうなったのか分かるところにサイドラインを引かせる。

4 とてもしあわせな二人の様子や気持ちを挿し絵をもとに話し合う。

5 まだ手紙は届いていないのにしあわせなのはなぜか話し合う。

6 本時学習をふり返り、まとめる。

(1) 本時学習を生かして音読する。

(2) くわしくなったお話を「今日の学習で」に書きまとめる。

○ 最初の挿し絵と最後の挿し絵を比べて、違いを見つけ、ふたりとてもしあわせになったことを挿し絵からも読み取らせる。

○ がまくんが、まだ手紙が届いていないのに幸せな気持ちになった理由を考えさせることで、自分のことを親友と認めてくれるかえるくんがいることがしあわせと感じていることを読み取らせる。

① かえるくんがなぜ手紙を出してしまったことを言ったのか、それを聞いたがまくんが、何を「いい」と言っているのか、この2点を色チョークで囲みながら板書でたどる。

② 板書で囲んだ2点を必ず入れるようにして、「今日の学習で」を書きまとめさせる。

12 / 18

四日間の二人のようすや、お手紙が届いたときのがまくんとかえるくんの気持ちを読みたしかめて、お話をくわしくしよう。

1 本時学習のめあてを確認する。

2 本時場面を音読する。

3 四日間、二人がどんな話をしながらお手紙を待っていたのかを二人組でふき出しに書く。

【書く活動①】

4 お手紙をもらって喜ぶがまくんと、かえるくんとかたつむりくんの様子や気持ちを話し合う。

5 本時学習をふり返り、まとめる。

(1) 本時学習を生かして音読する。

(2) くわしくなったお話を「今日の学習で」に書きまとめる。

○ 学習計画表をもとに、今日のめあて、はてなを確認する。

○ 本時の学習場面を把握するために音読させる。

○ 一日目に二人がどんな会話をしたか想像させて全体で話し合う。続きのお話を考えて、かえるくんとがまくん役になり交互に書かせる。

○ 挿し絵をもとに、がまくんとかたつむりくんの会話や、かえるくんの様子を想像させ、がまくんの喜ぶ姿に満足しているかえるくんの気持ちを読み取らせる。

① お手紙を待っていた四日間のふたりの様子や気持ちとお手紙をもらったときのかえるくんとがまくんの様子や気持ち、この2点を色チョークで囲みながら板書でたどる。

② 板書で囲んだ2点を必ず入れるようにして、「今日の学習で」を書きまとめる。

読 み の ま と め	13		
	14	学習をふりかえって、読みのまとめをしよう。	
	18	<p>1 題名にもどって、「お手紙」の果たした役目を考える。</p> <p>2 かえるくんの手紙を書く。 【書く活動②】</p> <p>3 読み方のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 挿し絵とつないで読む ○ 前の場面とつないで読む ○ にたことばを比べて読む ○ 会話文を読む ○ 場面と場面の間を読む 	<p>○ 題名にかえって、お手紙の果たした役目を今まで読み確かめた内容とつないで考えることができるようにする。</p> <p>① 挿し絵を見ながら、毎時間読み確かめてきたことを想起させて音読する。</p> <p>② 場面ごとのかえるくん語りかけられるようにお手紙を書く。場面ごとに区切ったプリントと、続けて書けるプリントを用意する。</p>
15			
	16	がまくんやかえるくんのようにすや気持ちが伝わるように音読はっぴょう会をしよう。	
	18	<p>1 グループごとに音読発表会の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙芝居 ・ 劇（お面をつけて） ・ ペープサート ○ 役割分担 <p>2 音読発表会の練習をする。</p> <p>3 音読発表会をする。</p>	<p>○ 読み確かめてくわしくなった登場人物の様子や気持ちを確かめるために音読することを確認する。</p> <p>○ 発表の方法をグループごとに選ばせることで、自分たちにあった表現方法で発表できるようにする。</p> <p>○ 一人一人の音読を聞いて評価をし、伸びを伝え、次単元の学習へつないでいくようにする。</p>
	17		
	18	かえるくんシリーズの本を読んで、みんなにしょうかいしよう。	
	18	<p>1 かえるくんシリーズの本のお話を聞く。</p> <p>2 かえるくんシリーズの本を読む。</p> <p>3 お話を一つ選んで、グループの友だちに紹介する。</p>	<p>○ 本の中から一話選んで読み聞かせをして、「ふたりはともだち」シリーズに興味を持たせる。</p> <p>○ 選んだお話のあらすじを書きまとめ、グループの友だちに紹介するようにする。</p>

6 本時の目標 (9 / 18)

- お手紙を出したことを言ってしまったかえるくんと、それを聞いたがまくんの様子や気持ちを想像しながら、あらすじをくわしく読み確かめることができる。
- かえるくんやがまくんの様子や気持ちを読むために、今までの二人の行動や様子、気持ちとつないで考えたりすることで、前の場面とつないで読む読み方を身に付けることができる。
- ◎ かえるくんがお手紙を出したことを言ってしまった文を見つけてサイドラインを引いたり、二人の会話から想像した様子や気持ちを加えたあらすじを書きまとめることができる。

7 本時指導の考え方

前時までに、子どもたちはかなしい気分であるがまくんを早く喜ばせるために大急ぎで手紙を書いたかえるくんの様子や気持ちや、だんだんいらだっていくがまくんをはげましながら、窓から見たりのぞいたりするかえるくんの様子や気持ちを読み確かめている。

本時は、お手紙を出したことを言ってしまったかえるくんと、それを聞いたがまくんの様子や気持ちを想像しながら、あらすじをくわしく読み確かめる学習である。

本時指導にあたっては、まず、学習計画をもとに本時のめあてと今日の学習の進め方を確認する。そして、本時学習する場面を確認するために、一斉音読をさせる。

次に、何で手紙を出したことを言ってしまったんだろうというはてなを提示する際に手紙を出したと言っているのはどこか問い、サイドラインを引かせる【書く活動①】。そして、なぜ言ってしまったのかを前の場面のかえるくんとがまくんの様子や気持ちとつなぎながら考えさせ、がまくんがどんどんおこっていくのに、かたつむりくんはまだ来ず、それに我慢しきれずにかえるくんが言ってしまったことを読み取らせたい。

そんなかえるくんに対して「きみが。」と言うがまくんの言葉を音読させたり、挿し絵から二人の様子を想像させたりすることを通して、かえるくんがお手紙を出してくれたことへの驚きや喜びに気づかせたい。そして、がまくんが何を「いい」と言ったのか考えるときには、「親友と言ってくれたことがうれしい」「親友であることをうれしく思っていると言ってくれた」といった手紙の内容に着目させ、親友と友だちはどう違うのか考えさせることで、自分のことを大切に思ってくれる友だちがいてくれたことを「いい」と言っているということも読み取らせたい。

さらに、お手紙の中の「きみの親友、かえる。」の文から、かえるくんががまくんにしてきた親友らしい行動を今まで学習した場面をふり返りながら探し、「親友」という言葉の意味を気づかせたい。

本時学習のまとめでは、板書をたどりながら今日の学習をまとめ、「今日の学習で」にくわしくなったあらすじを書きまとめさせる【書く活動②】。その際には、かえるくんがなぜ手紙を出してしまったことを言ったのか、それを聞いたがまくんが、何を「いい」と言っているのかの2点を必ず入れるようにして書きまとめさせる。また、本時に学習した読み方をプリントにチェックさせることで、今後の学習でも使うことができるようにしていきたい。

○ 論理的思考力を育成するための書く活動

- (1) 自分がお手紙を出したと言っているのが分かる文に、サイドラインを引かせる【書く活動①】。
- (2) 自分がお手紙を出したことを言ってしまったかえるくんの様子や気持ち、それを聞いたときのがまくんの様子や気持ちを想像し、くわしくなったあらすじを書きまとめる。【書く活動②】

検証の視点

- お手紙を出したことを言ってしまったかえるくんの様子や気持ち、それを聞いたときのがまくんの様子や気持ちを想像し、くわしくなったあらすじを確かめるのに、【書く活動①】【書く活動②】の位置づけと、その内容・方法は有効であったか。

8 本時の展開 (9 / 18)

配時	学習活動と内容	指導上の留意点
2	<p>1 本時学習のめあてと見通しを確認する。</p> <p>学習のめあて—— お手紙のことを話したかえるくと、それを聞いたがまくんのようにすや気もちを読みたしかめて、お話をくわしくしよう。</p>	<p>○ 学習計画をもとに、本時のめあてと今日の学習の進め方を確認する。</p>
2	<p>2 本時場面を音読する。</p>	<p>○ 学習計画表をもとに、今日のめあて、はてなを確認する。</p> <p>○ 本時の学習場面を把握するために音読させる。</p>
2	<p>3 かえるくんが手紙を出したことが分かるところにサイドラインを引く。 【書く活動①】</p>	<p>○ 何で手紙を出したことを言ってしまったんだろうというはてなを提示する際に手紙を出したと言っているのはどこか問い、サイドラインを引かせる。</p>
10	<p>4 どうして自分が手紙を出したのを言ってしまったのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がまんできなくなったから ・ かたつむりくんが来そうにないから ・ がまくんがあきらめて、おこっているから。 	<p>○ 前の場面のがまくんの様子やかたつむりくんを待っていたかえるくんの様子や気持ちを想起させる。</p>
14	<p>5 「とてもいいお手紙だ。」で、がまくんは何を「いい」と言っているのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼくの親友と言ってくれたから ・ 親友であることをうれしいと言ってくれたから ・ ぼくにも親友がいたから 	<p>○ 「きみが」の音読の違いを取り上げることで、がまくんのおどろきや喜びを読み取らせる。</p> <p>○ がまくんは、お手紙のどこを「いい」と言っているのか考えさせ、自分のことを親友と言ってくれるかえるくんの気持ちをうれしく思っていることを読み取らせる。</p>
5	<p>6 かえるくんががまくんにした、親友らしい行動について話し合う。</p>	<p>○ かえるくんが今までがまくんにしてあげたことをふり返り、親友らしい行動について考えさせる。</p>
10	<p>7 本時学習をふり返り、まとめる。</p> <p>(1) 本時学習を生かして音読する。</p> <p>(2) くわしくなったお話を「今日の学習で」に書きまとめる。 【書く活動②】</p>	<p>① かえるくんがなぜ手紙を出してしまったことを言ったのか、それを聞いたがまくんが、何を「いい」と言っているのか、この2点を色チョークで囲みながら板書でたどる。</p> <p>② 板書で囲んだ2点を必ず入れるようにして、「今日の学習で」を書きまとめさせる。</p>